



学校規模の適正化と 適正配置にかかる保護者会



第4回 保護者会の概要

開催内容

日時

2019年12月3日(火)
19:00~20:30

場所

手熊小学校 ランチルーム

参加者

15名

プログラム

- ・これまでの保護者会を振り返ろう!
- ・市教育委員会適正配置推進室からの説明
- ・学校統廃合への質疑・意見交換
- ・その他の疑問やもやもやを解消しよう!

今回の保護者会は、長崎市教育委員会適正配置推進室の方にもご参加いただき、これまで2年間、保護者や地域で検討してきた課題や疑義について、現時点での回答や長崎市の方針を説明していただきました。(詳細につきましては長崎市教育委員会配布資料、第4回学校規模の適正化と適正配置にかかる保護者会質問回答等参照)

また、説明の後に行われた保護者との意見交換の場では、「スクールバスの導入」や「路線バスの増便」、「下校時の見守り」といった、子どもたちの安全に関する質疑が多く行われ、「統廃合に賛成であっても反対であっても、まず子どもたちの安全が確実に担保されていないと、保護者として協議の場につくことは難しい」との声も上がっていました。

今後は、学校統廃合のアンケートを実施し、どちらかに意見が偏った場合、育友会総会で方針を決定していきたいと思えます。

そこで、保護者のみなさんは、これまでの保護者会で出た、「通学時の安全」「子どもたちの学び」「地域への影響」など、様々な視点からメリット、デメリットを家庭でも共有したうえで、アンケートにご回答いただけたらと思います。

学校統廃合がどのような結果になったとしても、これからの手熊小学校区の未来を大きく左右する決定となりますので、これまで2年という長い期間をかけて、保護者、学校、地域で話し合ってきたことをしっかり思い出しながら「子どもたちの未来のため」に結論を出していきましょう。

これまでの保護者会の振り返りをしよう



これまでの保護者会だよりのVOL. 1～3の内容を振り返りました。

参加できなかった会の内容や、少し時間がたっていたため忘れかけていた部分も振り返りで再認識できたのではないのでしょうか。

懐かしの駐在所さんの通学時の安全講話や、その当時まだ未就学児だった保護者の皆さんとのワークショップなど、いろんなことを思い出しましたね。



統廃合の保護者会には、先生方だけでなく、地域の方にもご参加いただき、手熊小学校区の「地域の子どもは、地域で守り、地域で育てていく」という強い思いに感激しました。

また、子どもたちのために行われている地域行事が年間30を超えていることにとても驚いたことも思い出しました。

振り返りの最後に、これからの進め方についても協議し、保護者全世帯にアンケートを実施することになりました。(アンケート内容等を執行部で協議し、1月中旬にお配りする予定です。)

また、このアンケートの結果にかかわらず次の事項についてみんなで確認しました。

- ・方針が決定したら前向きに考えよう！(メリットを伸ばし、デメリットを減らす努力をしよう。)
- ・意見が違っていても同じ手熊小学校の大切な仲間だということを忘れない！



市教育委員会からの説明と意見交換会



長崎市教育委員会適正配置推進室の方にも保護者会に参加してもらい、事前に集めていた保護者からの意見や質問について、室長や主幹から回答をいただき、あわせて市の方針や、今後の児童数の推移、通学時のバスの時刻や通学路などについて解説していただきました。

市教育委員会からの説明と意見交換会の続き



また、統廃合の進め方については「市は、よりよい教育を子どもたちに受けさせるため、複式授業のある手熊小学校の統廃合を推進したいと考えていますが、保護者さんや地域の皆さんの思いを無視して統廃合を進めることはなく、保護者会で出た結論を尊重していく方針です」とご回答をいただき、安心したという声もあがっていました。

説明の後に行われた意見交換では、やはり子どもたちの命に直結する通学時の安全について多くの意見が出ました。

保護者からは「統廃合の協議の場に立つためには、まず行政がしっかりと子どもたちの安全を確保してから」という意見も出ました。

「市としても、そのような保護者や地域の声をききながらしっかり検討し、対応していきます。」と回答していただきました。



疑問や、もやもやをみんなで解消しよう！



意見交換会で聞けなかった小さな疑問や意見を、みんなで出し合いました。

これまで出ていた「登下校の安全」や「子どもが新たな環境に慣れれるか」といった不安だけでなく、今回の児童数推移の説明を受けての意見、「統廃合になった場合の手熊小学校の跡地をどう活用するのか。」といった新たな意見も多く出ていました。

これらの疑義や意見は今後も引き続き出してもらい、一定たまったところでまた行政との説明会などで、意見交換できたらと考えています。

出た疑問や意見

～登下校時の安全について～

- ・乗り遅れや乗り過ごしなどが不安です。
- ・登校中の見守りは、先生の勤務時間外らしいが、保護者が交代で行うことになるの？
- ・バスの便数が少ないし、ランドセルや荷物をもって乗れるのだろうか。
- ・子どもたちの安全のためスクールバスが良いと思う。
- ・不審者情報が頻発している地域へ子どもを通わせることが不安です。

出た疑問や意見の続き

～統廃合による環境の変化について～

- ・少しでも早く児童数の多い学校へ通った方が、適応できるのではないかな。
- ・今後の手熊小の児童数をみて不安、児童数が一定いる学校へ通わせたい。
- ・既存のグループが存在する中に、手熊小の子どもたちが数人はいるのは不安。
- ・先生が目が行き届かなくなり人間関係のトラブルが増えるのではないのでしょうか。
- ・受け手となる桜が丘小は、統廃合についてどう思っているのでしょうか。
- ・勉強についていけなくなったとき、児童数が多いとおいてけぼりになったりしませんか？

～統廃合した場合の手熊小学校区の地域について～

- ・学校跡地はどうするのでしょうか。（跡地利用は地域の声反映されるのでしょうか。）
- ・放課後の子どもたちはどうなるのでしょうか？
- ・てぐまっこ（学童クラブ）はどうなるのでしょうか？



今回も進行をお手伝いいただいたファシリテーターさん、本当にありがとうございました。

市と保護者の意見交換の後の緊迫した雰囲気を一瞬で和やかなファミリープログラムへ引き込んでいただき、意見交換会では聞けなかった意見を細部まで掘り下げていただきました。

今後のスケジュール

- 1月中旬 アンケート配布
- 2月初旬 アンケート回収・集計
- 4月下旬 育友会総会で方針決定（どちらかに意見が偏った場合）
- *意見が分かれた場合は、今後も定期的にアンケートを実施する。

発行：手熊小学校 育友会 執行部